



2020年8月11日

各位

会社名 GMO フィナンシャルゲート株式会社
 代表者名 代表取締役社長 杉山 憲太郎
 (コード番号 4051 東証マザーズ)
 問合せ先 常務取締役 管理部長 木村 泰彦
 (TEL 03-6416-3881)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年8月11日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、2020年7月15日付「東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」にて公表いたしました2020年9月期(2019年10月1日～2020年9月30日)の業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 当期の連結業績予想数値の修正 (2019年10月1日～2020年9月30日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	3,210	335	307	190	52円37銭
今回修正予想 (B)	3,600	450	426	253	69円39銭
増減額 (B-A)	390	115	119	63	
増減率 (%)	12.1	34.3	38.8	33.2	
(参考) 前期実績 (2019年9月期)	2,379	226	226	134	37円50銭

2. 修正の理由

第3四半期連結累計期間の営業成績が、売上高2,834百万円(前回発表予想の3,210百万円に対する消化率、88.3%)と好調に推移したこと、営業利益416百万円(同、124.2%)は既に予想数値を超えた実績を計上していることから、改めて今後のコロナ禍による影響も考慮しつつ業績予想を検証しましたところ、上記のとおり、前回発表予想に対する差異が生じる見込みとなりましたことから、業績予想の修正をお知らせいたします。

(売上高)

まずイニシャル売上につきましては、既存決済端末販売の売上げが引き続き堅調に推移していることに加

え、コロナ禍の影響により遅れが生じておりました新プロジェクトの決済端末「stera」の販売も、短期間の遅れでキャッチアップすることができ、無事に販売がスタートしましたことから相応に推移するものと見込んでおります。

次に、経済活動の落ち込みにより影響を受けると思われたストック型売上に付きましても緊急事態宣言下にありました第3四半期前半の減収幅は、コロナ禍前の通常月に比べまして概ね10～20%程度の減収幅と、限定的なものにとどまったことに加え、宣言解除後は、堅調な回復が確認できております。以上の内容と、これからの第4四半期の業績推移を改めて検証致しました結果、売上高の予想数値を上記のとおりといたしました。

(利益)

第4四半期において、コロナ禍の長期化を見据えた体制強化や、今後さらなる成長や管理高度化を目指した各種施策を実施する予定としており、当該コストも見積もったうえ、各利益の予想を上記のとおりとしております。

※ 上記に記載した業績予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

以 上